

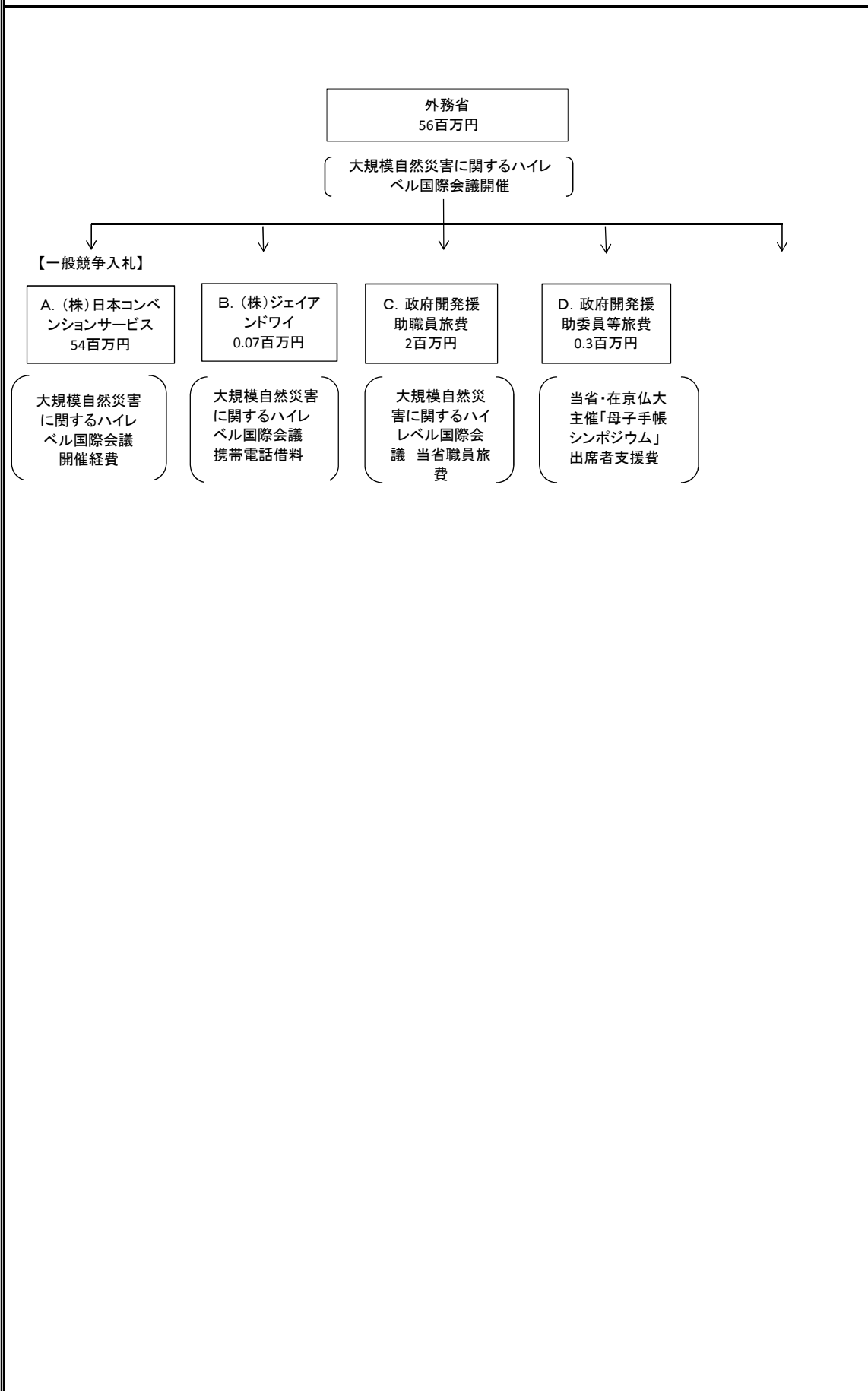
平成25年行政事業レビューシート (外務省)

<b>事業名</b>	大規模自然災害に関するハイレベル国際会議開催		<b>担当部局</b>	国際協力局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	-		<b>担当課室</b>	地球規模課題総括課		課長 飯田 慎一	
<b>会計区分</b>	特別会計		<b>政策・施策名</b>	基本目標Ⅳ；経済協力 施策Ⅵ-2-1：人間の安全保障の推進と我が国の貢献			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	外務省設置法第4条1項ハ、3項、7項 外務省組織令第72条		<b>関係する計画、通知等</b>	政府開発援助大綱、政府開発援助に関する中期政策			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	近年世界で発生した大規模自然災害及び東日本大震災の経験から共に学び、防災・災害対応に関する教訓を国際社会と共有する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	東日本大震災で示された国際社会からの温かい激励と連帯に応え、我が国と同様に自然災害に脆弱な国、かかる災害発生時に支援を実施した主要支援国や国際機関を本邦に招致し、同大震災で得た経験と教訓、また近年世界で頻発する大規模自然災害で受けた教訓等を共有し、今後取り組むべき国際的な防災活動等につき議論する。						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-		
		計	-	-	-		
	執行額	-	-	56			
	執行率(%)	-	-	80.6%			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	兵庫行動枠組みの推進(国家レベルで防災調整メカニズムを設置した国数)。国連の報告書より結果を確認。	成果実績		73	81	83	193
		達成度	%	38%	42%	43%	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	会議参加国・機関数	活動実績 (当初見込み)		-	-	99 (90)	- ( )
<b>単位当たりコスト</b>	66,719千円/会議開催		算出根拠	予算額66,719千円/会議開催			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	会議運営人件費等	-	-	平成24年度限りの予算である。			
	職員旅費(内国)	-	-				
	有識者等旅費(内国)	-	-				
	会場、機材借料等	-	-				
	招へい費	-	-				
	計	-	-				

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	外交交渉等に係わる協議であり、外務省が主体となつて行う事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	入札により業者を選定し、競争性を十分確保し。使途等についても必要なものに限定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	協議・活動の成果は、上記事業目的を遂行する上で有意義なものとなる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	近年世界で発生した大規模自然災害及び東日本大震災の経験から共に学び、防災・災害対応に関する教訓を国際社会と共有する国際会議を効果的に開催できた。					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	新24-33

個別事業名： 大規模自然災害に関するハイレベル国際会議開催

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)  
(単位：百万円)

個別事業名： 大規模自然災害に関するハイレベル国際会議開催

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	同時通訳者雇上、運営要員の人件費等	18			
庁費	会場、機材、自動車借料等	26			
招聘費	国外参加者の招聘事業	10			
計		54	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

個別事業名： 大規模自然災害に関するハイレベル国際会議開催

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本コンベンションサービス	防災関係会議in東北(旧:大規模自然災害に関するハイレベル国際会議)開催業務	54	7	71%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ジェイアンドワイ	上記会議対応のための携帯電話借料	0.07		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	国内(仙台)出張旅費	0.08		
2	職員B	国内(仙台)出張旅費	0.07		
3	職員C	国内(仙台)出張旅費	0.06		
4	職員D	国内(仙台)出張旅費	0.06		
5	職員E	国内(仙台)出張旅費	0.06		
6	職員F	国内(仙台)出張旅費	0.05		
7	職員G	国内(仙台)出張旅費	0.05		
8	職員H	国内(仙台)出張旅費	0.05		
9	職員I	国内(仙台)出張旅費	0.05		
10	職員J	国内(仙台)出張旅費	0.05		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	仙台への派遣旅費	0.08		
2	職員B	仙台への派遣旅費	0.06		
3	職員C	仙台への派遣旅費	0.03		
4	職員D	仙台への派遣旅費	0.03		
5	職員E	仙台への派遣旅費	0.02		
6	職員F	仙台への派遣旅費	0.02		
7	職員G	仙台への派遣旅費	0.02		
8	職員H	仙台への派遣旅費	0.02		
9					
10					